

三田の 野の花を育てる

共生センターの前庭にはいろいろな花が咲いています。実は3年前から三田の野の花に詳しいヒメカンアオイの会の皆さんに、昔から有馬富士山麓に自生している草花をボランティアで育てていただいています。有馬富士にある共生センターの玄関前には、むかしからこの三田に咲き続けている花が咲いて欲しいと考え、お願いしました。

有馬富士公園のかやぶき民家の近くや山の中から、公園の許可を得て三田の野の花の種をもらい受けました。その種は、芽を出し、大切に見守られています。もともとこの前庭に自生していたヒメスミレやアリアケスミレなども自然と芽を出し、野の花々は、時には鹿やうさぎに新芽をかじられながらも、季節ごとに花を咲かせ、昆虫や自然の生き物と共生しています。

前庭を覗いてみると、見頃の花や昆虫に出合えるかもしれませんよ♪

昔から野山にみられる草木は、もともと日本の気候に合っていて、太陽の光と雨露の恵みで自然に育ち、あぜ道や道端で花を咲かせるんだよ。

残念ながら道路の舗装や外来種の影響で、いまでは見かけることも珍しくなってしまったんだ。

ヒメカンアオイの会の皆さんは、小さな芽にも日が当たるように草を間引くなど環境を整えてくださっているよ。いつもありがとうございます！



キランソウ
3月～5月



アリアケスミレ
4月上旬～5月



ヒメスミレ
4月



カタバミ
5月～10月
葉はハート型



ホトケノザ
3月～6月
春の七草



イヌタデ
4月～11月



ナadeshikoと
モンキチョウ
春～秋



ツバメジジミと
キキョウ
6月～10月



ヨメナ
7月～10月



ツマグロヒョウモンの
さなぎ
蛹



ツマグロヒョウモンと
ヒョドリバナ
8月～10月



カワラナデシコ
7月～10月
秋の七草



フレモコウ
7月～10月



ヤマトジジミと
ゲンノショウコ
7月～10月



ウツボグサ
6月～8月

ヒメカンアオイの会

2003年から有馬富士公園で、ヒメカンアオイや野山に自生している草花を守る活動をされています。ヒメカンアオイは春の女神と呼ばれているギフチョウの幼虫が食べる植物です。(ギフチョウは絶滅が心配されている蝶です。)

古い歴史のある三田で、人々の薬草となり生活とともにあった野の花を、この地で絶やすことなく、未来へと繋げていきたいとの思いで、活動されています。



ヒメカンアオイに卵を産んでいるギフチョウ

ヒメカンアオイの会の活動にご興味のある方は、共生センターまでご連絡ください。

ヒメカンアオイの会の皆さんにお話を伺っていると、「美しい花を見ていると、その昔、花山院のお妃さまも道端や庭に咲く花を綺麗だなと、愛でられたのではないかと、ふと思うことがあるのよ。」とおっしゃっていました。

何百年前の昔の人と、同じ花を見て美しいと感じること、その花が毎年咲き枯れて種を落とし、その命を繋いでここに存在すること、その尊さを感じ、心を揺れ動かされました。

開発が進み、人が自然に手を加えたことにより、三田の野の花は守らなければ絶えてしまう恐れがあることを知り、今私たちにできることは何かと考えてみました。

花を踏まないこと、持ち帰らないこと、花に飛来する昆虫を大切にすること、来年も咲いて欲しいと願うこと。他にもたくさんあると思います。

人と自然が共生する美しい三田を、ここに暮らしている私たち一人一人が守り伝えていきたいです。(有馬富士共生センター)

